

成果の説明書

(氏名) 友岡邦之	(学部) 地域政策学部
1 重要事項	
A 研究の進展状況	
(1) 科学研究費助成事業関連	
基盤研究(B)「文化政策における政策評価の制度、方法、指標に人文地を応用して構築する研究」(研究代表者:小林真理)の最終年度であった。本年度もコロナ禍により活動に制約が生じたが、オンラインによる研究会や聞き取り調査を開催し、文化政策における評価事業場の課題を多面的に分析した。	
(2) 学会活動	
日本文化政策学会第15回研究大会のプログラム委員長として、大会の企画立案・運営に従事した。大会の概要については https://jacpr2021tokyo.wixsite.com/2021tokyo-jacpr を参照されたい。	
(3) 群馬県受託研究	
前年度に引き続き、群馬県が文化庁の助成を受けて行う取り組み(戦略的文化芸術創造事業)について、その効果を試行的に検証する取り組みを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大によって対象事業が中止となり、それに付随して検証業務も中止を余儀なくされた。	
(4) 論文等の執筆	
・「文化芸術活動の社会化——社会に踏み込んだ文化政策」上村泰裕・金成垣・米澤旦編著『福祉社会学のフロンティア——福祉国家・社会政策・ケアをめぐる想像力』第10章, ミネルヴァ書房, 2021年. https://www.minervashobo.co.jp/book/b592120.html	
・「モニュメントとしての文化施設の保存をめぐる合意形成手続き:レトリックの戦略的使用の観点から」『日仏社会学年報』(32), 25-38, 2021年.	
B 授業以外での教育上の取り組み	
(1) 大学院地域政策研究科集中講義科目「地域活性化特論」への協力	
高崎市のミニシアター「シネマテークたかさき」を運営しているNPO「たかさきコミュニティシネマ」の志尾睦子し、および「株式会社まちごと屋」としてコミュニティスペース「nakakonya」を運営する武井仁美氏の2名を講師とした講義をコーディネートした。	
(2) 本務校以外での教育業務	
政策研究大学院大学公共政策プログラム文化政策コースでの「特別セミナー2021 文化を巡る政策最前線(第79回)」にスピーカーとして登壇した(https://www.culture.grips.ac.jp/single-post/seminar079)。	
C 地域・社会活動	
(1) アーツカウンシル前橋	
前橋市が設立した「アーツカウンシル前橋」の統括責任者として、組織の運営に関与した。	

(2) 群馬県文化審議会

群馬県文化審議会の委員、および指針・基金部会座長として、県の文化行政の方向性に対し調査・提言を行った。

(3) 群馬労働局関連業務

同局の群馬地方労働審議会、地域訓練協議会の座長役を務めた。

(4) 審査業務

全国公立文化施設協会設立 60 周年記念事業「地域コミュニティ創造・再生事業企画提案コンペティション」の審査業務を務めた。

(5) 群馬音楽センター開館 60 周年記念事業への協力

「モニュメントとしての群馬音楽センター」(『群馬音楽センター開館 60 周年記念誌：ふたりのアントニン』46-48, 2021 年) を寄稿した。

D 学内行政

(1) 学生部長

学生部長およびそれに関連する業務に従事した。

2 その他の事項

(1) 文化経済学会〈日本〉個人理事

(2) 日本文化政策学会個人理事

3 次年度以降の計画・抱負

学生部長として大学組織の運営に貢献する。

研究面では、実戦経験を踏まえ、中小規模自治体の文化行政における評価事業の実装について、研究をまとめる。